

《社会福祉法人 仁育会 経営理念》

地域との連帯を深め信頼される社会福祉施設としての確立
と、安心と安全を守るゆとりある生活支援を目指します。

《青梅療育院運営方針》

1. 利用者から安心されるサービスの提供
1. 生活の安全を守るサービスの提供
1. 要介護度に応じた適切なサービスの提供

＝3月の行事計画＝

2日（火）ひな祭り（2階）
3日（水）ひな祭り（3階）
9日（火）選択食
11日（木）誕生会
15日（月）寿司の日

22日（月）理髪（2階）
26日（金）選択食
29日（月）理髪（3階）
日付け未定
お花見



＝4月の行事計画＝

2日（金）選択食
8日（木）誕生会
16日（金）選択食
19日（月）理髪（2階）
21日（水）寿司の日

26日（月）理髪（3階）
日付け未定
つつじハイク



＝令和2年度を振り返って＝

令和2年度は新型コロナウイルスの全国的な感染拡大により、予防対策に終始した一年となりましたが、ご家族の皆様にもご協力いただき、感染防止に努めてまいりましたことを深く感謝申し上げます。

一年を通して計画しました事業や諸行事にも影響が及び、利用者の皆様にも大変なご心配をおかけしてまいりました。

施設としましてはクラスターの発生防止には、職員全員が自覚と責任を持って、常に施設内の衛生管理に重点を置きながら努めてまいりました。

施設の衛生管理対策につきましては、厚生労働省からの通達にもとづいて洗面所、トイレの洗浄消毒と食器類の衛生管理には徹底してまいりました。その結果、施設内での感染発症を防止することができましたが、引き続き感染防止対策には万全を期してまいります。

一年間の事業執行結果につきまして、例年であれば3月末に家族会を開催して、ご報告申しあげるところですが、新型コロナウイルスの感染拡大が終息しておりませんので、施設内での会議開催が困難となっており、誠に恐縮ではございますが、文書によりご報告させて頂くことをご了承ください。

＝防災対策の強化について＝

10年前の3月11日に東日本大震災が発生し、多くの人命と家屋施設の流失という大災害が、日本全体に大きな悲しみを与えました。10年経過してもまだ故郷に戻れず仮住まいの方も多数いられることから、この災害の大きさに改めて驚きと警戒を感じます。

日本列島にかかる地層の力のバランスが変動し、これからも大規模な地震の発生が心配されますが、大自然の驚くべき威力には人間の知恵や力では対抗の余地はありませんので、常に防災意識を高く持って取り組んでいくしかありません。

過日の2月14日深夜に発生した福島沖の地震では、東京地方でも震度4で大変緊張しましたが、これから更なる大規模な地震が発生する可能性は高く、大規模災害の発生に備えておく必要性を強く感じます。

青梅療育院におきましては、立川断層という地震帯の真上に位置していることから、万一の大災害の発生に備えて避難訓練を行ったり、非常食の備蓄(3日分)を確保しておりますが、実際に阪神大震災や東日本大震災のような大災害に対して、果たしてどのように対応できるか極めて不安であり、防災対策の更なる強化を感じています。



節分・豆まき

今年の豆まきは2月2日でした。鬼の役を買って出てくれたのは、なんとご利用者様です！元気に鬼退治しました！！



邪気を払って、今年1年
健康に！！

蒸しケーキ作り！

個別レクでは蒸しケーキを作りました！！



蒸し上がるまでは動物パズル
で頭と指の運動です。

上手に蒸し上がりました！！

焼き芋パーティー

今井第1自治会のご協力で
焼き芋パーティーを開催することが
できました！！



たくさんの笑顔が見られました！

